

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2023 年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。本競技会は、2023 ワールドランキングコンペティション対象競技会である。

## 2 招集について

- (1) 招集所は、第3ゲート外側に設ける。
- (2) 招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラム記載の競技日程を参照のこと。
- (3) 招集の方法
  - ①招集開始時刻に招集所で競技役員の点呼を受ける。その際、アスリートビブス・スパイクピン・競技場内への持ち込み物品などの商標の点検を受ける。トラック競技のみ、腰ナンバー標識を受け取る。
  - ②携帯電話等、競技規則 TR6. 3. 2 に関わる通信機器等を持ち込んでいないか確認を受ける。
  - ③代理人による最終点呼は認めない。2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が招集所に用意した「2種目同時出場届」に記入し1種目目の招集時に招集所へ提出する。
  - ④欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出する。
  - ⑤招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権したものとみなされ出場できない。
- (4) 招集所は当該種目の競技者以外の立ち入りを禁止する。(ADカード規制)
- (5) リレー種目について
  - ①「リレーオーダー用紙」に必要事項を記入し、第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出すること。
  - ②一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。(競技規則 TE24. 11)

## 3 アスリートビブスについて

- (1) 主催者から配布されたアスリートビブスは、折り曲げないでユニフォームの胸と背に確実に付けること。但し、跳躍競技の競技者は、胸と背のみでよい。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバー標識を受け取り、左右後方に付けること。なお、リレー種目においても全員が腰ナンバー標識を付ける。
- (3) 3000m以上の競技は、特別アスリートビブスを使用するので、競技開始時刻1時間前までに招集所へ受け取りにくること。その際、正規のアスリートビブスを持参すること。腰ナンバー標識を2枚取り付ける。

## 4 競技場内への入退場について

- (1) すべての競技場への入場の際は、ADカードを提示して入場すること。
- (2) 招集所から競技者係の誘導により競技場に入場する。
- (3) 競技終了後は、競技役員の指示に従い、ミックスゾーンを通り退場する。なお、決勝において第3位までの競技者を入賞者控えに誘導する。
- (4) 衣類運搬は行わないので、100m・110mH・100mH・3000mSCの競技者は、第1ゲートから出て、本競技場外を通過して第4ゲートから入って、自分の荷物を持って第4ゲートから退場する。それ以外のトラック種目の競技者は、本競技場内のダッグアウトを通過してスタート地点に戻り、荷物を持って最寄りのゲートから退場する。

## 5 競技の抽選、及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、スタートリストに記載した順による。
- (2) トラック競技の決勝の組み合わせ、及びそのレーン順は正面玄関前及び招集所に掲載する。

(3) タイムによる次のラウンドに進む競技者の決定について、最終枠に同記録がある場合は、写真判定員主任が 0.001 秒単位の時間を判定して競技者を決定する。レーンに余裕があれば同記録者は次のラウンドに進むことができる。レーンに余裕がない場合は抽選とする。

## 6 競技について

### (1) トラック競技について

- ①トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
- ②レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③短距離種目では、競技者の安全のためフィニッシュライン通過後も自分の割り当てられたレーンを走る。
- ④競技規則 TR16.8 により、不正スタートをした競技者は 1 回で失格とする。

### (2) フィールド競技について

- ①跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側（走高跳は助走路内）に主催者が準備したマーカーを 2 個まで置くことができる。サークルで行う投てき競技は、マーカーを 1 個だけサークルの外側に置くことができる。
- ②棒高跳の競技者は、自分の希望する支柱の位置を「アップライト申告書」に記入し、招集開始時に招集所に提出する。その後位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。なお、公式練習はゴムバーを使用する。
- ③三段跳の踏切板は、砂場から男子 13m、女子 10m の位置に設置する。
- ④フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
- ⑤フィールド競技が行われる近接のスタンドに「コーチングエリア」を設ける。

### (3) リレー競技について

- ①4×100mR の第 2・3・4 走者は、各自用意したマーカー（粘着テープ）を使用することができる。
- ②4×400mR における第 3・4 走者は、競技役員の指示に従い、第 2 曲走路入口（黄色旗）を通過した順序で内側から並び待機すること。
- ③県選抜で所属の異なる競技者で編成されたチームで出場する場合は、各自の所属先のユニフォームでの出場を認める。

### (4) 助力について

- ①競技規則 TR6 により、競技場内での助力は禁止とするが、コーチングエリア内での助言については認める。録画映像を確認する場合は、競技者から視聴可能なコーチングエリア内とする。また、吊り下げや手渡し、競技者が視聴するために当該競技エリアから離脱する行為、文書をもって連絡することは認めない。
- ②健康上に理由により、競技者に物品を渡す必要がある場合は、マーシャルその他の競技役員を通じて物品を渡すことができる。

## 7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次の通りとする。  
（但し、天候等の状況により変更することもある。）

種目	種別	練習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m90/2m00	1m95 2m00 2m05 2m08 2m11 以降3cm
	女子	1m50/1m65	1m55 1m60 1m65 1m68 1m71 以降3cm
棒高跳	男子	4m30/4m80	4m40 4m50 4m60 4m70 4m80 4m90 以降10cm
	女子	2m80/3m50	2m90 3m00 3m10 3m20 3m30 3m40 以降10cm

## 8 競技用具について

- (1) 棒高跳用ポール以外、競技に使用する用具は主催者が用意したものを使用しなければならない。但し、投てき用具リストにないもの（日本陸上競技連盟検定品に限る）については、持ち込みを認める。希望者は、各招集開始時刻までに、持ち込む投てき用具とともに「投てき用具検査申請書」をT I Cに持参すること。  
受け付けた「投てき用具」については、「預かり証」を発行する。検査に合格した「投てき用具」については、一括借り上げし、出場競技者間で共有できるものとし、競技終了後にT I Cで「預かり証」を確認のうえ返却する。
- (2) スパイクピンの長さは9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (3) 競技用靴については、WAシューズ規則を適用し、規格外のシューズでの出場は認めない。但し、フィールド競技用シューズは適用除外措置とする。

## 9 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、大型スクリーン及び正面玄関の掲示板とアナウンスで行う。
- (2) 抗議は、競技規則 TR8 に定められた時間（大型スクリーン表示時刻を基準とする）内に競技者自身または代理人が、同一日に次のラウンドがある場合は15分以内に、それ以外は30分以内にT I Cの担当総務員に口頭で申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員をとおして裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ預託金1万円を添え、審判長裁定から上記同様の決められた時間内にT I Cに申し出る。「上訴申立書」による抗議裁定の結果は担当総務員をとおして伝える。

## 10 表彰について

- (1) 各種目の1位から3位までの競技者は、正面スタンド前で表彰式を行う。
- (2) 表彰はジャージまたはTシャツで行う。
- (3) 各種目の1位の競技者には、賞状とトロフィーを、2位・3位の競技者には賞状を授与する。
- (4) 県対抗男女総合1位～3位、男子総合1位～3位、女子総合1位～3位、男子トラック競技1位～3位、女子トラック競技1位～3位、男子フィールド競技1位～3位、女子フィールド競技1位～3位には賞状を授与する。

## 11 カメラ及びビデオ撮影について

競技者が安心して競技に専念できるようにカメラ撮影制限エリアを設ける場合がある。盗撮行為が疑われるような「迷惑行為」防止に向けて、撮影者に対しては、本大会役員より撮影データと身分証明の提出を求められる場合がある。

## 12 個人情報の取り扱いについて

主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取り扱います。なお、取得した個人情報はプログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用します。

## 13 練習会場の使用について

- (1) 練習時間、練習種目については、別紙「練習会場使用日程」を確認すること。
- (2) 競技者が本大会で使用する練習用具は、すべて主催者が用意したものを使用し、練習用の個人の用具は練習会場に持ち込んではいけません。

## 14 一般注意事項

- (1) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、医務室に連絡する。
- (2) 競技会での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (3) 大会期間中の貴重品の管理は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (4) 届けられた遺失物は、T I Cで保管する。

- (5) 「記録証明証」の発行を希望する場合は、T I Cに500円を添えて申し込むこと。  
 (6) 提出書類は、次の通りとする。

【配布場所】

[招集所] 欠場届・2種目同時出場届・リレーオーダー用紙・アップライト申告書

[T I C] 投てき用具検査申告書・上訴申立書・記録証明証交付願

No.	提出するもの	提出場所	提出時刻
1	欠場届	招集所	招集完了時刻まで
2	2種目同時出場届	招集所	1種目目の招集時
3	リレーオーダー用紙	招集所	第1組目の招集完了時刻1時間前まで
4	アップライト申告書	招集所	招集時
5	投てき用具検査申請書	TIC	招集開始時刻まで
6	上訴申立書(預託金1万円)	TIC	競技規則第TR8による
7	記録証明証交付願	TIC	TIC閉鎖時刻まで(500円)

- (7) 本競技場正面スタンドコンコースに各県のシートエリアを設置する。各県で持参したシートを敷いて利用すること。他に割り当てはしないが、本競技場芝生スタンド真中通路より上、本競技場外周の芝地、補助競技場内は、トラックから5m以上離れた芝地（ホームストレート側は除く）。フェンス外側の芝地等へのテント設営を認める。  
 (8) 送付された棒高跳ポールの受け渡しは、T I Cで指示する。また、棒高跳ポールの返送は、各県で対応すること。  
 (9) ゴミは各自、毎日終了時に持ち帰ること。